

温室効果ガス削減計画

1 事業の概要

(1) 事業所の名称

日本製紙株式会社 大竹工場

(2) 事業所の所在地

広島県大竹市東栄二丁目1番18号

(3) 業種

1421 洋紙製造業、1422 板紙製造業

(4) 事業所位置図

別紙のとおり

2 計画の期間

本計画の期間は、令和3(2021)年度を基準年度とし、令和4(2022)年度から令和8(2026)年度までの5年間とする。

3 計画の基本的な方向

理 念

日本製紙大竹工場は環境負荷の低減に努め自然との調和を目指します。
環境マネジメントの透明性を高め、地域社会との信頼関係を堅持します。
将来にわたり環境保全と循環型社会の形成に努力します。

重点項目

1. 法令順守
2. 環境負荷の低減
3. 省エネルギー（化石燃料使用の極小化）
4. 資源の有効利用
5. 積極的な環境コミュニケーション

4 温室効果ガスの排出状況（二酸化炭素換算）

【エネルギー起源二酸化炭素】

温室効果ガスの種類	温室効果ガス排出量 (t-CO ₂)	
	基準年度	直近年度
	令和 3 (2021) 年度	令和 3 (2021) 年度
二酸化炭素	365,847	365,847

【非エネルギー起源二酸化炭素】

温室効果ガスの種類	温室効果ガス排出量 (t-CO ₂)	
	基準年度	直近年度
	令和 3 (2021) 年度	令和 3 (2021) 年度
二酸化炭素		

【その他温室効果ガス】

温室効果ガスの種類	温室効果ガス排出量 (t-CO ₂)	
	基準年度	直近年度
	令和 3 (2021) 年度	令和 3 (2021) 年度
メタン		
一酸化二窒素	79,897	79,897
その他 温室効果 ガス (HFC PFC SF6 NF3)		

5 温室効果ガスの総排出量に関する数量的な目標

《排出量を削減目標とする場合》

単位：排出量 (t-CO₂)，削減率 (%)

温室効果ガスの種類	基準年度 (平成 () 年度)	削減目標		目標年度 (令和 () 年度)
	排出量 (a)	削減率 (b)	削減量 (c)	排出見込量 (d)
エネルギー起源CO2				0
非エネルギー起源CO2				0
メタン				0
一酸化二窒素				0
その他 温室効果ガス				0
温室効果ガス 実排出量総計				0
温室効果ガス みなし排出量		-		0
目標設定の考え方				

※ 削減率(b) = (c)/(a) × 100 削減量(c) = (a) - (d)

《原単位を削減目標とする場合》

原単位算定に用いた指標：

生産量 (t)

単位：排出量(t-CO₂)，原単位量 (kg等)，削減率 (%)

温室効果ガスの種類	基準年度 (令和 3 (2021) 年度)			原単位 削減目標	目標年度 (令和 8 (2026) 年度)		
	排出量 (a)	原単位 数値 (b)	原単位 (c)	削減率 (d)	排出 見込量 (e)	原単位 見込数値 (f)	原単位 見込 (g)
エネルギー起源CO2	365,847	346,900	1.05	9.5	330,697	346,900	0.95
非エネルギー起源CO2					44,212	346,900	0.13
メタン							
一酸化二窒素	79,897	346,900	0.23	4.4	75,981	346,900	0.22
その他 温室効果ガス							
総排出量	445,744	346,900	1.28	-1.6	450,890	346,900	1.30
エネルギー消費原単位 (原油換算 k l)	-	-	310.6	4.9	-	-	295.4
目標設定の考え方	<ul style="list-style-type: none"> ・非化石燃料増加傾向により本計画書から排出見込み量を記載 ・エネルギー起源CO2を年2.0%、一酸化二窒素を年1.0%の削減率で設定しエネルギー消費原単位として、原単位ベース年1%の削減率とした 						

※ 削減率(d) = {(c) - (g)} / (c) × 100 原単位(c) = (a) / (b) 原単位見込(g) = (e) / (f)

6 温室効果ガスの排出の抑制に係る措置項目及び目標並びに具体的な取組等

○ 温室効果ガスの排出抑制に向けた取組

	項 目	数値目標	具体的な取組
1	燃料使用量の削減	・総エネルギー原単位について前年度比1%改善	<ul style="list-style-type: none"> ・廃熱の有効利用 ・新エネルギーボイラーの効率的運転 ・発電所の効率的運転 ・操業改善による省エネルギー
2	電気使用量の削減		<ul style="list-style-type: none"> ・ポンプファンへの回転数見直し等による省エネルギー ・高効率設備導入による省エネルギー ・高効率照明設備導入による省エネルギー
3			
4			

※ 原単位で作成する場合は、数値目標欄の記載例中、「使用量」を「原単位」に適宜読み替えること

○ 温室効果ガスみなし排出量の抑制に関する取組（環境価値の活用等）

	種 類	合計量
1		
2		
3		

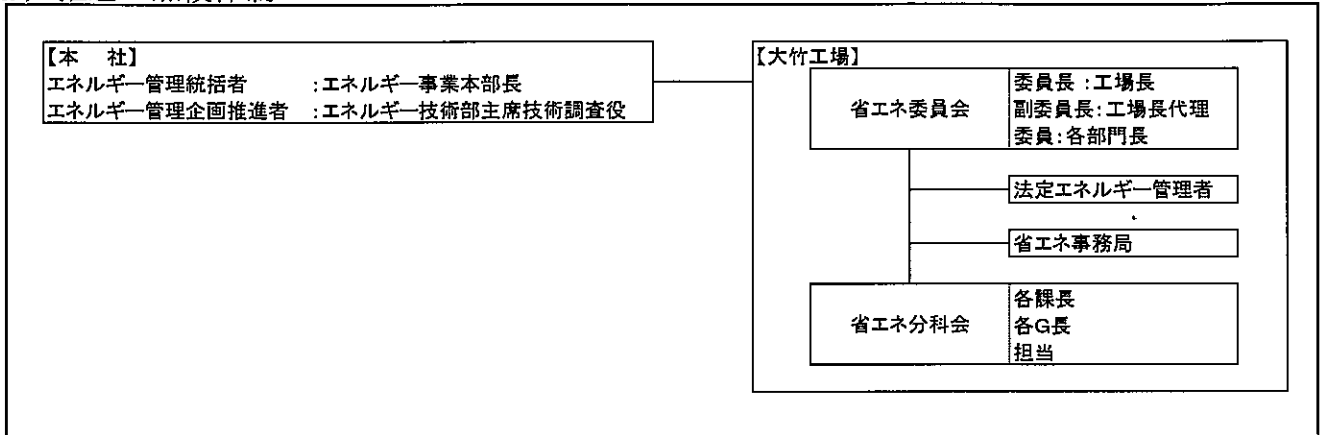
○ その他の取組

	項 目	数値目標	具体的な取組
1			
2			
3			

※ 環境に配慮した実践的な取組などをされていれば記入してください。

7 温室効果ガス削減計画の推進並びに実施状況の点検及び評価に関する方法等

(1) 推進・点検体制



(2) 実施状況の点検・評価

省エネルギー事務局が毎年温室効果ガス削減計画の取組状況の把握・点検及び問題点の検討を行い、定期的な評価・見直し等を行って継続的な向上を図る。
また、毎年度の取組状況、点検・評価内容等を計画書とともに公表する。

(3) 計画書等の公表

- ・ 事業所に備え付けて閲覧する。
- ・ 当社のホームページ上で公開する。